



平岡の環境教育の今

自然からのメッセージを子どもたちへ



1 冬の昆虫観察会

2024年2月10日 10:00～11:30

平塚市土屋の里山体験フィールドで、冬の昆虫観察会を行いました。観察会の5日前には関東地方の広域で降雪があったばかりです。寒いが続く中、昆虫たちはどのように過ごしているのでしょうか。今回は、その様子を観察することが狙いです。

当日の参加者は13家庭37名。みんなで昆虫が隠れている場所を丁寧に探していくと、冬枯れた草むらの中に潜むツチイナゴ、倒木に隠れるクビキリギス、割った朽ち木の中からはハサミムシ類やコクワガタなど、次々と生きものが姿を現してくれました。天気が良かったので、日なたを動き回るナナホシテントウの姿も観察できました。期待していたムラサキツバメ、ウラギンジジミ、ホソミイトトンボは見つかりませんでした。それでもみんなで冬の虫探しを満喫するには十分な量でした。

虫探しのほかにも、里山の手作り遊具や落ち葉滑りなども楽しむことができました。管理地を快く開放していただいた里山をよみがえらせる会の皆さま、ありがとうございました。

- 1 落ち葉が積もった里山の斜面をソリに乗って疾走する子どもたち。
- 2 朽ち木は越冬する昆虫たちの絶好の隠れ場だ。
- 3 でかいミミズに興奮する園児。
- 4-5 ツチイナゴ（左）とクビキリギス（右）、どちらも成虫で越冬する。
- 6 日なたではナナホシテントウの姿も。
- 7 ブランコ、シーソー、ツリーハウスなど手作りの遊具がたくさんある。

2

フユシャク観察会

2024年1月19日(金) 17:30~19:00



- 1 ナミスジフユナミシャク♀
- 2 ヒロバフユエダシャク♂
- 3 フユエダシャクの1種♀
- 4 シロフフユエダシャク♀
- 5 懐中電灯でフユシャク探し

今年も有志の園児を誘って、湘南平へ夜行性の生きもの探しに出かけました。お目当ては、冬季に成虫が出現するシャクガの仲間「フユシャク(冬尺蛾)」です。オスは飛び回ってくれるので発見は容易ですが、メスは翅が退化して飛ぶことができないのでなかなか見つかりません。昨年は1匹を見つけるのがやっとでしたが、今年はなんと！9匹も見つかりました。みんな夢中になってフユシャクのメスを探していたので、あっという間の1時間半でした。

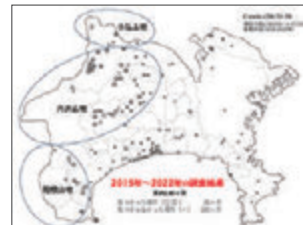
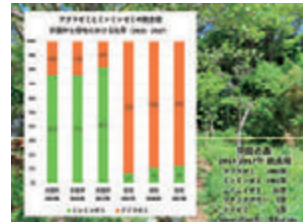
フユシャクのほかにも、キリガ(冬夜蛾)の仲間や、イシノミの仲間、クモ類なども見つかりました。真冬の夜という厳しい環境の中で繰り広げられるさまざまな命の営みは、子どもたちにとって大きな驚きになったのではないかと思います。



写真提供：日本セミの会

市内のセミのぬげから調査(2014年~2018年)、神奈川県内のハルゼミ調査(2015年~継続中)についてお話ししました。また、少しですが本誌の出版活動も紹介しました。

当日の参加人数は、関東圏で行われた談話会では過去最多が記録されたとのこと。多くのセミ研究者や愛好家の皆さんに、幼稚園レベルでもさまざまなことができる可能性を知っていただけたのではないかと思います。



発表資料より

- 1 チョウセンカマキリ卵鞘
- 2 オオカマキリ卵鞘
- 3 ムネアカハラビロカマキリ卵鞘
- 4 マダケの切り口の中にあつたコカマキリ卵鞘

マキリの卵鞘を探しに行き、在来種ハラビロカマキリの卵鞘との形の違いを観察しました。

3

第101回 日本セミの会談話会にて発表

2024年1月13日(土)

発表テーマ 「平岡幼稚園のセミ活」

神奈川県横浜市の波止場会館多目的ホールで行われた第101回日本セミの会談話会において、表題の口頭発表を行いました。

平岡幼稚園の園児は、一般的な幼稚園に通う園児と比べて、自然(生きもの)とふれあう機会に恵まれています。その背景にある本園のビオトープを紹介しつつ、園内で見られるセミの話題や、平塚



4

第23回 さがみ自然フォーラムに参加

2024年2月8日～2月12日

さがみ自然フォーラムは、県内の学校や市民団体、企業、自治体などが、生物多様性の保全に関する活動のパネル展示や発表などを行い、その重要性について理解を深めてもらうイベントです。主催は神奈川県自然保護協会と厚木市で、厚木市の生物多様性地域戦略の一環にも位置づけられています。今年は51団体が参加しました。

平岡幼稚園では、活動紹介のパネル展示と、湘南自然誌の無償頒布を行いました。事前に準備した各20冊×31種類=620冊が品切れになるなど大盛況でした。

平岡幼稚園のセミ活



学校法人 平岡幼稚園
園長 堀田 佳之介

5

みんなで調べよう平塚のカマキリ 野外ガイドダンス(卵鞘編)

2023年12月16日(土) 9:30～11:30

平岡幼稚園と平塚市博物館のコラボ調査「みんなで調べよう平塚のカマキリ」の野外ガイドダンスを、里山体験フィールド(平塚市土屋)で行いました。前回(9/16)は成虫編、今回は卵鞘編です。

この場所で見られるカマキリは4種(オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ、コカマキリ)。この4種の中で、最も見つけづらいのがコカマキリの卵鞘です。物陰に産むことが多いので目立たないからです。ですが、優秀な調査員の皆さんは、あっという間に4種すべてをコンプリートしてしまいました(コカマキリの卵鞘は積んであったマダケの切り口の中がありました)。ガイドダンスの後半は、外来種ムネアカハラビロカ



鈴川探鳥会

2024年2月12日(祝月) 9:30～11:30

6

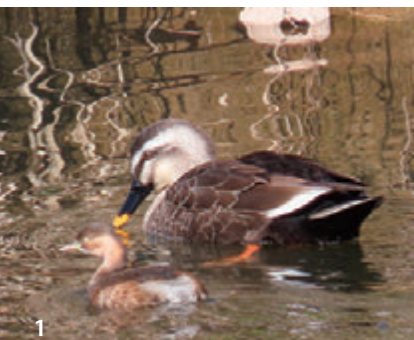
平岡幼稚園のすぐ南側には鈴川が流れ、県内有数の田園地帯が広がります。この一帯にはたくさんの鳥たちが集まるので、バードウォッチングに最適な場所です。コロナ禍により4年ぶりの開催となりましたが、今年も野鳥観察グループ「こまたん」のみなさんの多大なご支援により、みんな楽しく鳥の観察をすることができました。

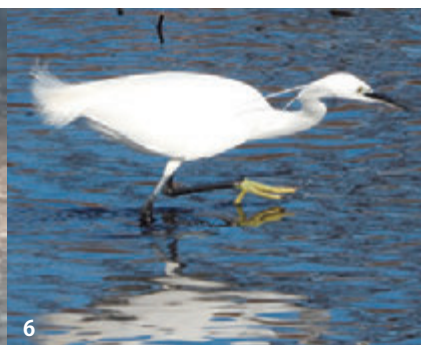
例年、探鳥会で観察できる鳥の平均種数は30種前後です。今年は天候にも恵まれたこともあり、なんと35種の鳥たちに出会うことができました。鳥を見つけると、こまたんのメンバーの方々が、すばやく望遠鏡をセットしてくれるので、小さな子どもでも簡単に遠くの鳥を観察することができます。普段みんなが過ごす幼稚園のすぐ近くにも、多様な鳥たちが暮らしているということを実感してもらえたのではないかと思います。

最後になりますが、観察の援助や、鳥類の解説をしていただいた、「こまたん」の皆さま、ありがとうございました。

当日撮影された主な鳥

- 1 カイツブリ(左)、カルガモ(右)
- 2 ホオアカ
- 3 タゲリ
- 4 カワセミ
- 5 キセキレイ
- 6 コサギ
- 7 イソシギ
- 8 ジョウビタキ (3～8 佐藤道夫氏撮影)







上 メスアカフキバッタ 下 ハラナガツチバチ

冬に咲く美しい氷の芸術作品

とある秋の日のこと、森影に行くときあまり目立たない白い花が咲いていた。見てみるとホンヒラタアブがホバリングしながらそっと花に止まり花粉を探している。小さな翅（はね）が木漏れ日を受けて虹色に輝いて美しい。良く見ると数匹のハラナガツチバチも小さな花にぶら下がり、蜜や花粉を探していた。直ぐ近くにメスアカフキバッタもいた。このバッタは香りの良い葉を食べて成長したらしく、花を愛おしむようにじっと眺めていた。

この花は、「シモバシラ」というシソ科の植物。秋が深まると花は美になり、やがて葉も落ち、茎は枯れてしまう。枯れても根が水を吸い上げ続けるので、冬には凍って霜柱のようになることからつけられた名だ。

冬のある朝、森へ出かけてみると地面には霜柱ができていた。ザックザック踏みながら歩いていると、寒かった空気が清々しく感じてくる。秋に見つけたシモバシラの傍に寄ってみると、枯れた茎の根元から色々な形の氷のかたまりが出現していた。それは霜柱というよりも「氷の華」という方がふさわしい。それぞれに特有の美しさがあり、植物体の中の水が作った美しい芸術作品に感動した。

しかしそれも陽が昇ると夢のように儂く消えてしまう。冷え込みの厳しい朝の数時間だけあらわれる自然の神秘。それに会えただけでも早起して森に出かけた価値があるというものだ。まさに早起きは三文の徳である。

第15回 心が育つ 幼児教育



文・写真 吉田 文雄

鹿児島大学卒。元小中学校理科教諭。公立中学校長を最後に定年退職。現在は神奈川県立愛川ふれあいの村学芸員。著書に、『あつぎ自然歳時記』（国書刊行会）、『自然は友だち 春夏編』（神奈川新聞社）などがある。



第12回

知育ゲーム

出題：編集部 画：富岡誠一

ヒトスジシマカ（いわゆるヤブカ）は、
だいたい何匹集めると1円玉と同じ重さになるでしょうか？
（イラストは吸血した姿ですが、してない時の体重で）

- ① 約 50 匹 ② 約 200 匹 ③ 約 700 匹

（答えは下の欄）

- **ダウンロード** 平岡幼稚園HPからPDFがダウンロードできます。
- **頒布** 無料で各号ひとり1部に限り、平岡幼稚園にてお渡ししています。（※ 要事前連絡）
ikimono@hiraoka-kg.com もしくは 0463-58-1188(担当:園長)まで
- **配架・所蔵** 以下の施設でも閲覧できます。

【図書館】 国立国会図書館(東京本館・関西館)、神奈川県立図書館、横浜市立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市立中央図書館、※綾瀬市立図書館、※秦野市立図書館、鶴見大学図書館 ※印は蔵書登録なし

【博物館等】 県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館、観音崎自然博物館、茅ヶ崎市博物館

【その他】 神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、県立足柄ふれあいの村、秦野市立くずはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園ののほな館、箱根町立森のふれあい館、はこね・おだわら昆虫館、平塚市立びわ青少年の家、平塚市町内福祉村おかざき鈴の里、うみねこ博物堂、平塚市立土屋霊園、Mushi-sha(むし社)

Back Number

過去号閲覧



湘南自然誌 PDF 版
hiraoka-kg.com/culture/



Publisher

発行元

HIRAOKA Kindergarten

平岡幼稚園



平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生物を呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全するほか、生物の調査・研究活動も行っています。1967年開園、園地総面積7716㎡。

主な受賞歴

- 2014年 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に選定
- 2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
- 2019年 かながわ地球環境賞(神奈川県)
- 2020年 日本生態系協会賞(公財・日本生態系協会)
- 2021年 地域環境保全功労者表彰(環境省)



website

Answer

知育ゲーム答案

答えは③ ヒトスジシマカの体重は約0.0014g。したがって、714匹集めると1円玉と同じくらいの重さになります。
参考文献：『昆虫の体重測定』吉谷昭憲 文・絵（福音館書店）

Editor's Note

編集後記

今号の取材では、高円寺にある「むし社」に伺い、お店を紹介してもらおうと共に、より昆虫ライフを楽しむための道具類などのお話を聞いてきました。昆虫採集用品は、網以外にも吸血管や各種トラップなど様々なものがあります。本当はもっと色々紹介したかったのですが、初心者か次のステップへ進むためのきっかけとしては、よりの絞った方が分かりやすいと考え、シンプルにまとめてみました。標本作りも、詳しく手順を解説するのではなく、ざっと道具を紹介するにとどめました。標本は意外と簡単にできるものです。詳しい手順はネットで見る事ができるので、興味がある方はぜひチャレンジしてみてください。

最後に、生物の同定でお世話になった諸先生方に感謝申し上げます。（富岡）



特集

STEP UP
昆虫ライフ ↑
at むし社